

## 研究成果の刊行に関する一覧表

### 1. 論文発表

Hiroko Sato, Chihiro Shibata, Yoko Fujiya, Wakako Akino and Saito H: Epidemiology of scrub typhus in Akita Prefecture, 2007-2016. Infectious Agents Surveillance Report, 38 (6), 5-6 (2017)

Hiroyuki Saito, Wakako Akino, Hiroko Sato, Yoko Fujiya, Chihiro Shibata, Ryoetsu Sato and Hiroyuki Shimizu: Isolation of enterovirus D68 using suckling mice. Infectious Agents Surveillance Report, 38 (10), 11-12 (2017)

Imamura S, Kanezashi H, Goshima T, Haruna M, Okada T, Inagaki N, Uema M, Noda M, Akimoto K. (2017)Next-Generation Sequencing Analysis of the Diversity of Human Noroviruses in Japanese Oysters., Foodborne Pathog Dis., Jun 8. doi: 10.1089/fpd.2017.2289.

Imamura S, Kanezashi H, Goshima T, Suto A, Ueki Y, Sugawara N, Ito H, Zou B, Uema M, Noda M, Akimoto K. (2017)Effect of High-Pressure Processing on Human Noroviruses in Laboratory-Contaminated Oysters by Bio-Accumulation., Foodborne Pathog Dis., Jun 8. doi: 10.1089/fpd.2017.2294.

宗村 佳子, 木本 佳那, 小田 真悠子, 永野 美由紀, 奥津 雄太, 森 功次, 秋場 哲哉, 貞升 健志:拭き取り検体からのノロウイルス遺伝子検出状況. 食品衛生学雑誌, 58(4), 201-204(2017)

宗村 佳子, 木本 佳那, 小田 真悠子, 奥津 雄太, 加藤 玲, 鈴木 康規, 齊木 大, 平井 昭彦, 秋場 哲哉, 新開 敬行, 貞升 健志: 学校給食で提供された刻みのりによるノロウイルス食中毒. 食品衛生学雑誌, 58(6), 260-267(2017)

上間 匡, 野田 衛 (2017)ノロウイルスによる食中毒, 公衆衛生, 81(6)

入谷展弘, 上林大起, 改田 厚, 阿部仁一郎, 山元誠司, 久保英幸, 平井有紀, 野田 衛, 小笠原 準: 2016-2017 シーズンに大阪市で認められたノロウイルス流行, 大阪市立環境科学研究所報告 調査・研究年報 79, 1-4 (2017)

野田 衛 (2017)改訂新版 ノロウイルス食中毒・感染症からまもる!!-その知識と対策-, 公益社団法人日本食品衛生協会, 1-156

野田 衛 (2017)刻み海苔を介したノロウイルス食中毒事件が教えてくれたこと, 国立医薬品食品衛生研究所報告, 135, 6-12

野田 衛 (2017)本邦初の刻み海苔を介した分散型広域ノロウイルス食中毒事件の全体像, 食品衛生研究, 67. 7-14

## 2. 学会発表

Hiroyuki Saito, Yuko Shimizu, Hiroko Sato, Wakako Akino, Satoshi Hayakawa and Hiroshi Usijima: Immunological response in a patient of noroviruses infection associated with raw oyster. 第 65 回日本ウイルス学会学術集会, 2017, 大阪

永田文宏, 上間 匡, 濱島洋介, 寺杣文男, 野田 衛 (2017)パンソルビントラップ法による食品からのノロウイルスの検出, 第 113 回日本食品衛生学会学術講演会, 江東区, 2017

今村彩貴, 金指大海, 五島朋子, 須藤篤史, 植木 洋, 菅原直子, 伊藤 博, 鄒 碧珍, 上間 匡, 野田 衛, 秋元京子 (2017)高圧処理によるノロウイルス人為汚染カキの汚染低減効果, 第 38 回日本食品微生物学会学術総会, 徳島市, 10/5

今村彩貴, 金指大海, 五島朋子, 須藤篤史, 植木 洋, 菅原直子, 伊藤 博, 鄒 碧珍, 上間 匡, 野田 衛, 秋元京子 (2017)高圧処理による養殖カキ中のノロウイルス汚染低減効果, 第 113 回日本食品衛生学会学術講演会, 江東区, 11/9

斎藤博之, 佐藤寛子, 早川智, 牛島廣治: 生カキ喫食後の胃腸炎症例におけるノロウイルス排泄状況と免疫応答, 第 58 回日本臨床ウイルス学会, 2017, 長崎

斎藤博之, 秋野和華子, 佐藤寛子, 清水優子, 早川 智, 牛島廣治, 野田 衛 (2017)ノロウイルス GII. 17 に対するパンソルビントラップ・トラップ法の有効性に関する検討, 第 113 回日本食品衛生学会学術講演会, 江東区, 11/9

斎藤博之, 秋野和華子, 佐藤寛子, 清水優子, 早川智, 牛島廣治, 野田衛: ノロウイルス GII. 17 に対するパンソルビン・トラップ法の有効性に関する検討, 第 113 回日本食品衛生学会学術

講演会，2017，東京

斎藤博之，秋野和華子，佐藤寛子，清水優子，早川智，牛島廣治，野田衛：パンソルビン・トラップ法の捕捉抗体供給源としてのガンマグロブリンの再評価，第38回日本食品微生物学会学術総会，2017，徳島

斎藤博之，秋野和華子，佐藤寛子，清水優子，早川智，牛島廣治，野田衛：生カキが原因でノロウイルスに感染した症例におけるノロウイルス排泄状況と抗体価の推移，第29回秋田応用生命科学研究会講演会，2017，秋田

宗村佳子：ノロウイルス食中毒一刻み海苔を原因とした大規模な即中毒事例を踏まえー．第113回食品衛生学会学術講演会，東京，2017年11月10日

秋野和華子，斎藤博之，野田衛：市販生カキにおけるノロウイルス汚染の定量的調査，第38回日本食品微生物学会学術総会，2017，徳島

小林孝行，吉富秀亮，中村麻子，芦塚由紀，梶原淳睦，野田衛：福岡県内で発生したノロウイルスGI.Pc-GI.5による食中毒事例について，第43回九州衛生環境技術協議会，北九州市，10月12日，2017

小林孝行，吉富秀亮，中村麻子，芦塚由紀，梶原淳睦，野田衛：福岡県内の食中毒事例から検出されたノロウイルスGI.Pc-GI.5の遺伝子解析，第38回日本食品微生物学会，徳島県，10月5日，2017

小林孝行，吉富秀亮，中村麻子，芦塚由紀，梶原淳睦，野田衛（2017）福岡県内の食中毒事例から検出されたノロウイルスGI.Pc-GI.5の遺伝子解析，第38回日本食品衛生学会学術総会，徳島市，10/5

上間 匡，永田文宏，野田 衛（2017）糞便汚染指標としてのPepper mild mottle virusの評価，第113回日本食品衛生学会学術講演会，江東区，11/9

谷澤 由枝，重本 直樹，高尾 信一，野田 衛：ふき取り検体からのノロウイルス検出法の改良及び公共施設トイレにおけるノロウイルスのモニタリング，第38回日本食品微生物学会学術総会，2017，徳島

中村麻子，吉富秀亮，小林孝行，芦塚由紀，梶原淳睦，野田衛：市販ノロウイルス検出イムノクロマトキットの遺伝子型別反応性評価，第64回福岡県公衆衛生学会，福岡市，5月18日，2017

入谷展弘, 上林大起, 改田 厚, 阿部仁一郎, 山元誠司, 久保英幸, 野田 衛: 2016/17 シーズンに大阪市で認められたノロウイルス GII.2 流行, 第 65 回日本ウイルス学会, 大阪 (2017. 10. 24-26)

高木弘隆, 永田文宏, 上間匡, 野田衛 (2017) 食品媒介性及び介在性ウイルスに関する不活性化評価手法の策定に向けた検討(1)ーヒトノロウイルス代替ウイルス選定に関する検討, 第 38 回日本食品微生物学会学術総会, 徳島市, 10/5